

平成 21 年 8 月 15 日

	<h1>まねん</h1>	KKR 広島記念病院広報誌
		第 14 号

発行所〒730-0802
広島市中区本川町1-4-3
国家公務員共済組合連合会
広島記念病院
TEL(082)292-1271

<http://www.kkrhiroshimakinen-hp.org>

長い梅雨がやっと明けたと思えば、早いものでもう夏も終わりに近づいています。

さて、この度、平成 21 年 7 月 10 日（金）リーガロイヤルホテル広島において、地域医療懇談会を開催いたしました。これは、当院が皆様方のご支援により地域医療支援病院の名称使用の承認を頂いたことのご報告と、今後の更なる連携強化にご協力いただきたく開催したものです。



懇談会の前半は免疫療法の第一人者である、瀬田クリニックグループ統括院長後藤重則先生を講師にお迎えし、「がんの免疫細胞療法の現状と今後の展開」と題した講演を行っていただき、後半は会場を移して懇親会とさせていただきました。懇親会では和やかな雰囲気の中、日頃からお世話になっている先生方と、実際にお目にかかってお話をすることができ、大変貴重な時間となりました。

当日は 65 名の登録医の先生方、近隣の病院の先生方にご出席いただき、盛況のうちに会を終えることができました。お忙しい中、ご出席いただきました皆様に、心よりお礼申し上げます。

今後も、「地域の中核病院」、「よりきめ細やかな小回りのきく病院」を目指して、地域医療に貢献していけるよう努めて参る所存です。

引き続き、ご指導を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



認定看護師が誕生しました！！！！



この度、皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しました、広島記念病院 看護部 森本純子です。認定看護師を目指したのは2006年の秋でした。何度もチャレンジを繰り返し、2008年6月に京都橘大学看護教育研修センター認定看護師教育課程へ入学、2008年12月に卒業、2009年5月に認定審査を受けました。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、以前はWOC（創傷・オストミー・失禁）認定看護師という名称で、通称ウォックと呼ばれていましたが、一般の方がイメージしやすい名称ということで2007年より名称変更しました。

皮膚・排泄ケア認定看護師は、創傷・オストミー・失禁看護を専門とし、広島記念病院では、主に以下のケアを行なっています。

- ①創傷では、褥瘡や術後の創部、高齢者の皮膚損傷、胃瘻や瘻孔等のケア
- ②オストミーでは、人工肛門造設患者様の術前から術後のケア
- ③失禁では、便尿失禁による皮膚障害へのケア

私は認定看護師の卵ですが、認定看護師教育課程で学んだことを、今実践で経験しながら学びを深めています。

私が、皮膚・排泄ケア認定看護師を目指したのは、ストーマケアや創傷ケアについて学び、自信を持って患者様に喜んでもらえるケアを行なえるようになりたいという思いからでした。これからは、皮膚・排泄ケアの向上に努めるとともに、患者様や私を支え、励ましてくださった方々に元気を与えられるよう、皮膚・排泄ケア認定看護師として自己研鑽に努めていきます。皮膚・排泄ケア認定看護師としてできることを一生懸命がんばっていきますので、よろしくお願い致します。

皮膚・排泄ケアの分野でお困りの方がいらっしゃったら、ご相談下さい。



創傷ケア(外傷)



看護部活動報告

✿ 看護の日

5月12日に看護の日のイベントを広島記念病院の1階フロアにて行いました。メタボリックシンドロームの健診（身長・体重・血圧・骨塩定量・体脂肪の測定、栄養・健康相談）や足マッサージ、正しい手洗い・マスクの着用方法、AED（Automated External Defibrillator、自動体外式除細動器）の実演を行い、面会にこられた方や、近隣の方々など多くの方が参加してくださいました。

最近、新型インフルエンザの流行もあり、手洗いやマスクの着用方法など参加者の方の関心も高いように思いました。



AEDに対しても関心をもっておられる方が多く、実演を熱心に見ておられる方や質問される方もおられました。実際にAEDや心臓マッサージを体験していただくこともでき、「大変だね。」や「救急の場面で少しでもできるようになりたいね」と感想をいただきました。

今後も、地域住民の方々の健康増進のため生活習慣病予防の意識向上や感染予防に貢献していきたいと思っております。

✿ 本川小学校ゲストティーチャー

6月19日(金曜日)、本川小学校からゲストティーチャーとして招かれました。1年生の児童を対象に「ばい菌から体を守ろう」と題して授業を行いました。

まず、スライドを見ながら手洗いと、マスクについて学習しました。手には細菌やウイルスが多く存在していること、また細菌やウイルスはくしゃみや咳で遠くまで飛ぶため、口を手やマスクで覆い、友達や家族に感染させない「咳エチケット」について学習しました。

次にグループに分かれ、手洗いの実習を行いました。実習では、手洗いチェッカー（グリッターバッグ）を使用しました。手洗いチェッカーとは、蛍光塗料を含む専用ローションを使用し、蛍光塗料がブラックライトに反応して発光し、洗い残し部位を目で見確認することができる道具です。まず、児童たちの手に専用ローションを塗布し、普段やっている手洗いをし、ブラックライトにかざしてみると、親指の付け根、爪の生え際、指の間などの洗い残しが見られました。この結果を児童と確認した後、再度ローションを塗布し正しい手洗いの指導を行いました。児童でも理解しやすいように、亀さんのポーズなど計6つのポーズで手洗いの指導を行った結果、指導後の児童の手には蛍光塗料はほとんど残



っていませんでした。



次に、マスクの正しい着用方法について実習しました。マスクを着用する際は、口、鼻、あごをしっかりと隠し、マスクについている針金を鼻にしっかりと密着させることが大切です。1年生のみんなは上手にマスクをつけることができました。

今回の授業では、児童に手洗いやマスクの大切さを学んでもらえたと思います。また学校の手洗いとマスク着用について意識の高さを感じました。今回1年生の児童を対象に授業

を行いました。児童が家や地域に帰り、地域の方々にも手洗いとマスクによる感染予防に興味を持っていただければと思います。今後も様々な形で地域の方々の健康の維持増進に努めたいと考えています。

✿ すくすくサークル

当院では今年度から育児学級“すくすくサークル”をはじめました。

これは1歳までの、仲間作りの場が少ないとの意見があったことから、

- 1) 母親同士の情報交換と、ネットワーク作りの場とする。
- 2) 育児不安の軽減を図り、今後の育児についての支えとなる。

(1) 聞きたいことが気軽に聞ける場とする。

(2) 毎日の育児に生かせる具体的アドバイスを受ける場とする。

を目的に、当院で出産された生後3ヶ月と生後6ヶ月の赤ちゃんとお母さんを対象に実施し、助産師、看護師らで運営しています。

4月28日に第1回すくすくサークルを開催、生後3ヶ月の赤ちゃん&ママ10組が集まってくれました。

久々の再会に話が弾む姿もみられ、とても明るい雰囲気スタート。

赤ちゃんはみんなとっても大きくなっていて、笑顔もたくさん見せてくれました！子育て真最中のママ同士、育児に関するいろんな悩みをみんなで話し合ったりしました。先輩ママさんからは色々な豆知識を教えてもらったりもして、とても勉強になりました。最後にみんなで並んで記念写真！

赤ちゃん&ママの笑顔に助けていただきながら、初のすくすくサークルは無事終了。

これからもっと赤ちゃん&ママに喜んでいただけるようなすくすくサークルになるよう頑張りたいと思います！！



地域医療従事者研修会報告

医療安全研修会

地域の病院に向けて医療安全に関する研修会の企画依頼があった時は、何をしようかと悩みましたが、皆で楽しくできる研修をと考え「KYT（危険予知トレーニング）を学んでリスク感性を高めよう」というタイトルで案内を出しました。最初は参加者が少なかったらどうしようと思っていました。しかし担当者から締め切りが近づくに従って、「希望者の FAX がドンドン来てるよ」と言われ、今度は会場が狭すぎるのではないかという心配に変わってきました。

最終的に、17施設49名、看護師・介護士・歯科衛生士・理学療法士など色々な職種の方の参加があり、皆さんの KYT（危険予知トレーニング）に対する関心の強さに驚かされました。

当日は、当院の医療安全対策委員のメンバーが、グループワークに2名ずつファシリテーターに入りました。狭い会場でしたが、にぎやかに楽しく進行をしていただき、参加者の方から「KYTのラウンドの流れが理解でき分かりやすかった」「グループワークをす



ることで実践的に学ぶことができた」「グループにファシリテーターがついていて分かりやすく説明してもらえた」「職場で活用していきたいと思う」「他病院の方と一緒にコミュニケーションが図れ、とても楽しい時間でした」などの感想を頂き、企画者としては大変でしたがやってよかったと思いました。

KYTの基本は、危険を予測して要所要所で「声だし、指差し呼称確認」をすることです。これは継続していくことに意味があります。今回研修を受けられた皆さんがそれぞれ現場で実践し、安全に対するリスク感性を高め、危険が潜んでいることに自らが気づくようになることを願っています。



癌疾患関連セミナー

6月25日に第7回癌疾患関連セミナーを開催しました。

今回は食道癌をテーマに、内科田村医師より「表在性食道癌の診断と治療」 外科宮本医師より「食道癌の鏡視下手術」と題して講演がありました。

地域の先生方にも8名ご参加いただき、両医師からそれぞれ食道癌治療のガイドラインや、当院で実施した内視鏡治療の症例について、また鏡視下手術の適応や手技等動画を交えて紹介がありました。

セミナー後、参加していた院内のコメディカルからも、「良くわかった」「面白かった」との意見がたくさん聞かれました。次回は11月に開催予定です。



広島記念病院の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」について

病院のこころ、職員の姿勢を伝えることを意とし、平成10年6月病院建替え完成と同時に、下記の「理念」「憲章」「患者様の権利の尊重」を制定いたしました。患者の皆様やその関係者の方々等広くお知らせするため、病院玄関より各階すべてに掲示しております。日々の仕事のなかで実現できるよう努力しております。

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

患者様の権利の尊重

- ◆ 患者様の人間としての尊厳を尊重し秘密を守ります。
- ◆ インフォームドコンセント（良く納得された上での合意）を基盤とし、信頼関係を確立します。
- ◆ 各科の有機的な連携を図り、高次で専門的な総合医療を行います。
- ◆ 癒しの心を持った、接遇、ケアを行います。
- ◆ 癒しの心を持った、入院環境、アメニティーの整備を心がけます。

地域医療連携支援室

TEL 082 (503) 0730

FAX 082 (503) 1010

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

4病棟

FAX 082 (503) 1014

5病棟

FAX 082 (503) 1015

6病棟

FAX 082 (503) 1016

7病棟

FAX 082 (503) 1017

8病棟

FAX 082 (503) 1018